

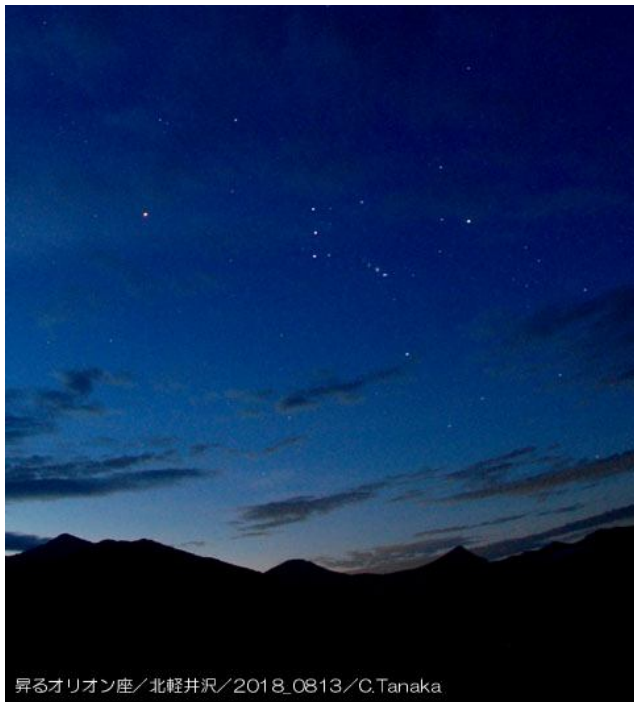
## 「夏にオリオン座を観察する(2)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

夏でも明け方まで待てば、東の空から冬の星座が昇ってくる。それを観察するには、朝3時頃起きて、東の空が開けた場所に行かなくてはいけないこれはなかなか決断力が必要な行動である。



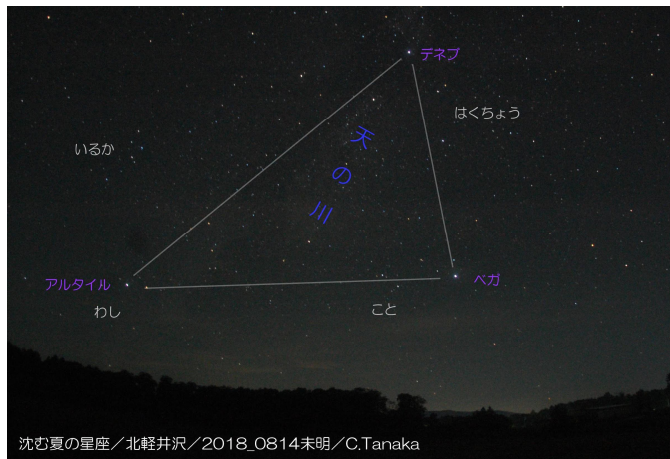
昇るオリオン座/北軽井沢/2018\_0813/C.Tanaka

8月13日の明け方には、オリオン座を撮影できた。今度はオリオン座の2等星以上の恒星(7個)がすべて写っている。



沈む夏の星座/北軽井沢/2018\_0814未明/C.Tanaka

反対側の西の地平線には、夏の星座が沈みかけているところだった。当然頭上には秋の星座(ペガサス座やアンドロメダ座)が見えていた。一時にして、夏・秋・冬の星座を見られたことになる。(3ページ目拡大)



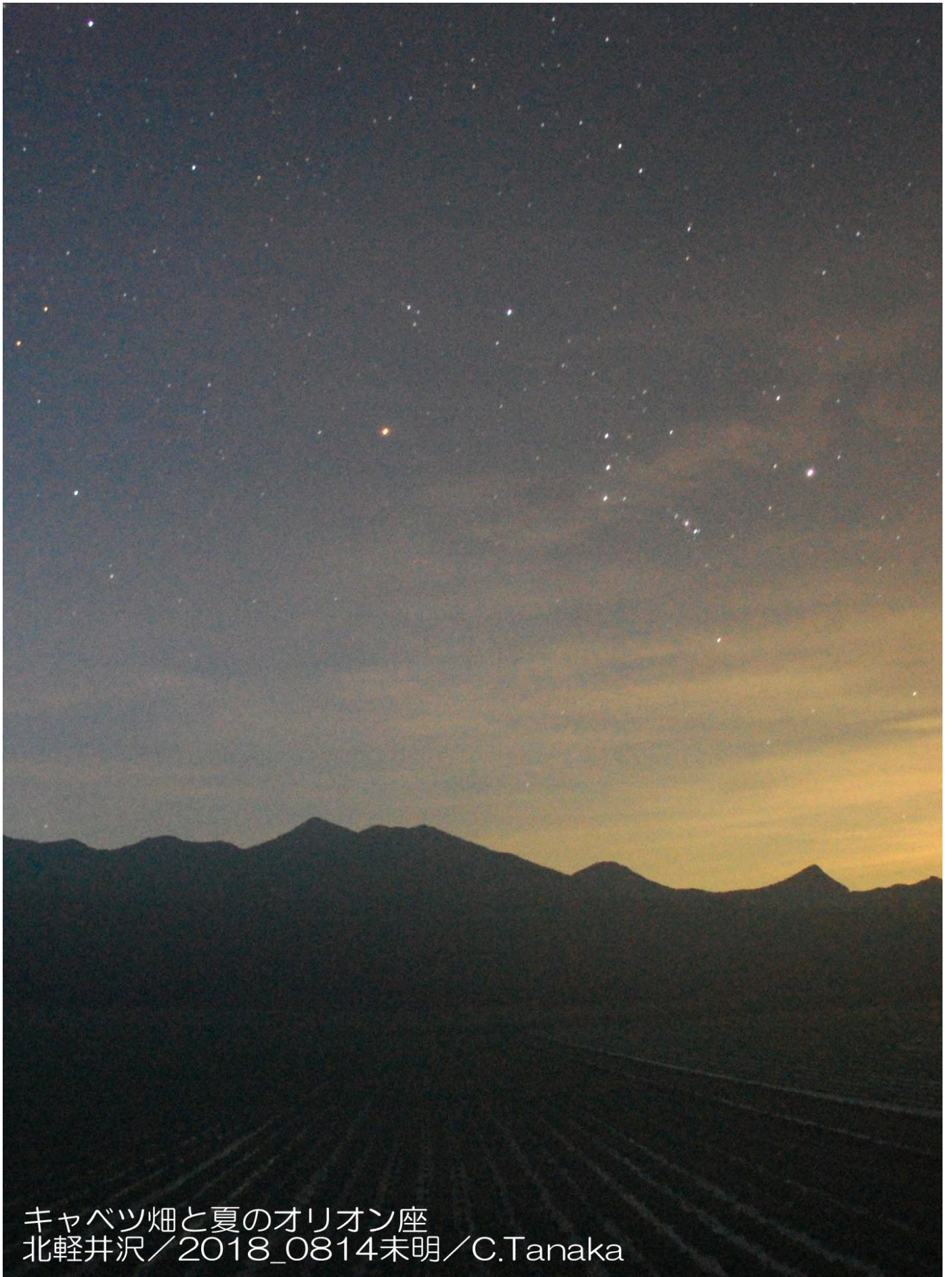
沈む夏の星座/北軽井沢/2018\_0814未明/C.Tanaka

天頂付近にあった時は、夏の大きな大三角は小さく見えたが、地平線付近で沈みかけている時は、とても大きく見える。これは太陽でも月でも、ほとんどの天体で起きる現象だが、実際の大きさ(角面積)は、天球上のどこにあっても変化はない。目の錯覚だ。

「月に冬の星座が見えた」と口で言うのは簡単だし、実際に左の写真にもオリオン座が写っている。しかし、「これは冬に撮った写真では?」と言われたら、何も反論できない。私は「確かに夏に撮影したオリオン座」という写真を撮ろうと思った。その為には、何か季節がわかる地上物を一緒に写すしかない。そしてやっと撮れたのがこの写真だ。あたりがやや明るくなり、キャベツ畑が一緒に写った。(2ページ目に拡大写真)



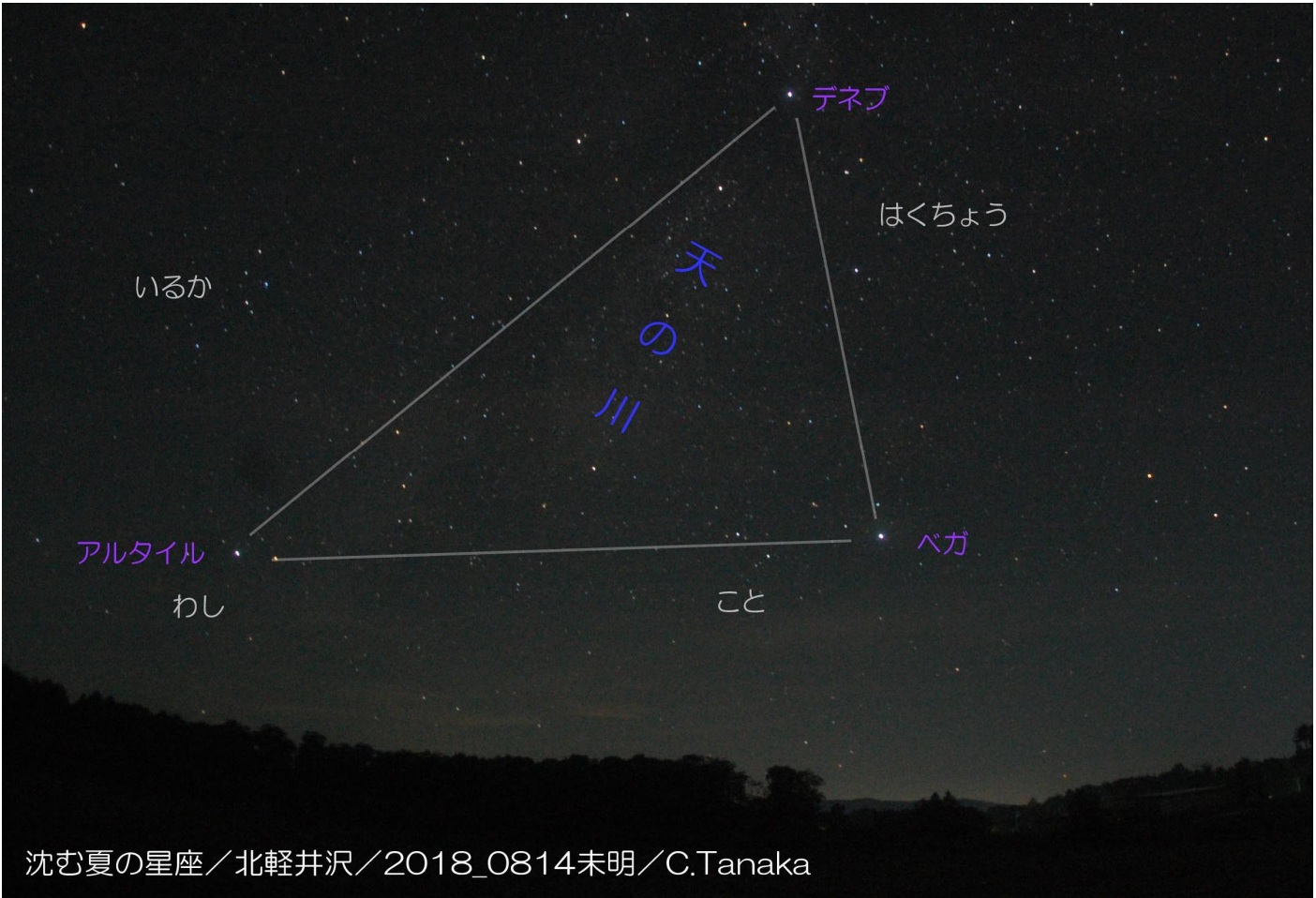
キャベツ畑と夏のオリオン座  
北軽井沢/2018\_0814未明/C.Tanaka



キャベツ畑と夏のオリオン座  
北軽井沢／2018\_0814未明／C.Tanaka



沈む夏の星座／北軽井沢／2018\_0814未明／C.Tanaka



沈む夏の星座／北軽井沢／2018\_0814未明／C.Tanaka